

平成 23 年度

事 業 報 告 書

学校法人 聖和学園

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

本学園は一宗一派によらない仏教を教育の理念とし、宗教的情操の涵養に重きをおき、知育、体育、徳育の養成に努めることを教育の方針としている。宗教の授業や仏教行事を通し、釈尊の教えを心の糧として人格の陶冶と勉学に励むことを目的とする学園である。

本学園は、昭和 5 年宮城県仏教会の仏教精神による高等女学校設立の発願により、仏教的情操教育を建学の精神とし、開校以来 70 有余年の伝統と歴史をもつ女子教育機関として、その社会的使命を果たしてきた。しかしながら、時代の趨勢を考慮し、平成 15 年度から男女共学化を実施した。現在は幼稚園、高等学校、短期大学を擁し、一貫教育を目指している。

(2) 学校法人の沿革

昭和 4 年 (1929 年)

4 月 宮城県仏教会発足、仏教精神による高等女学校設立を計画

9 月 学校設立基金として吉田つぎ女史の篤志寄付を受ける

昭和 5 年 (1930 年)

3 月 伊澤平左衛門を設立者として、高等女学校令により開校認可

校名「吉田高等女学校」、校長 木村匡、総定員 400 名

昭和 11 年 (1936 年)

3 月 「財団法人吉田高等女学校」となる (初代理事長 伊澤平馬)

昭和 14 年 (1939 年)

4 月 「吉田専修女学園」設置 (修業年限 1 年)

昭和 19 年 (1944 年)

3 月 「吉田専修女学園」廃止

昭和 23 年 (1948 年)

4 月 「聖和学園」と改称。「吉田高等学校」、「吉田中学校」併設

昭和 26 年 (1951 年)

2 月 「学校法人聖和学園」設置

4 月 「聖和学園短期大学」開設 (国文科、被服科)

昭和 29 年 (1954 年)

4 月 「聖和幼稚園」開設

昭和 38 年 (1963 年)

4 月 短期大学に保育科開設

昭和 46 年 (1971 年)

4 月 法人本部事務局設置

昭和 54 年 (1979 年)

3 月 「吉田中学校」廃校

昭和 61 年 (1986 年)

4 月 「吉田高等学校」を「聖和学園高等学校」に校名変更

昭和 63 年 (1988 年)

4 月 「聖和学園短期大学」移転 (仙台市南中山 5 丁目 5 - 2)

平成 5 年 (1993 年)

4 月 短期大学「被服科」を「生活文化科」へ学科名変更

平成 11 年 (1999 年)

7 月 短期大学の定員 250 名認可

平成 15 年 (2003 年)

4 月 短期大学「国文科」の募集を停止し、「人間コミュニケーション学科」設置

高等学校を男女共学化し、高等学校「三神峯キャンパス」設置

平成 17 年 (2005 年)

4 月 短期大学「人間コミュニケーション学科」、「生活文化科」の募集を停止し、

「キャリア開発総合学科」設置

平成 19 年 (2007 年)

4 月 短期大学の「保育科」の募集を停止し、「保育福祉学科」設置

(3) 設置する学校の内容

(平成 23 年 5 月 1 日現在)

学校名 (所在地)	学部・学科等名	開設 年度	入学 定員(a) 人	志願者 数 人	合格者 数 人	入学者 数 (b) 人	(b)/(a) %	収 容 定 員 (c) 人	現員(d) 人	(d)/(c) %
聖和学園短期大学 (仙台市泉区南中山 5 丁目 5-2)	キャリア開発総合学科	(H17)	130	181	168	155	119.2	260	324	124.6
	保育福祉学科	(H19)	120	388	120	116	96.7	240	234	97.5
	短期大学 (計)	S26	250	569	288	271	108.4	500	558	111.6
聖和学園高等学校 薬師堂キャンパス (仙台市若林区木ノ下 3 丁目 4-1) 三神峯キャンパス (仙台市太白区土手内 2 丁目 1-1)	全日制普通課程 (薬師堂キャンパス)	(H15)	400	1,784	1,562	364	91.0	1,200	1,095	91.3
	(三神峯キャンパス)	(H15)	200	632	480	193	96.5	600	540	90.0
	高等学校 (計)	S23	600	2,416	2,042	557	92.8	1,800	1,635	90.8
聖和幼稚園 (仙台市若林区木ノ下 4 丁目 3-14)		S29	120	81	81	77	64.2	300	209	69.7

参考) 平成 24 年度の状況

(平成 24 年 5 月 1 日現在)

学校名 (所在地)	学部・学科等名	開設 年度	入学 定員(a) 人	志願者 数 人	合格者 数 人	入学者 数 (b) 人	(b)/(a) %	収 容 定 員 (c) 人	現員(d) 人	(d)/(c) %
聖和学園短期大学 (仙台市泉区南中山 5 丁目 5-2)	キャリア開発総合学科	(H17)	130	132	130	124	95.4	260	277	106.5
	保育福祉学科	(H19)	120	270	125	116	96.7	240	229	95.4
	短期大学 (計)	S26	250	402	255	240	96.0	500	506	101.2
聖和学園高等学校 薬師堂キャンパス (仙台市若林区木ノ下 3 丁目 4-1) 三神峯キャンパス (仙台市太白区土手内 2 丁目 1-1)	全日制普通課程 (薬師堂キャンパス)	(H15)	390	1941	1814	408	104.6	1,200	1133	94.4
	(三神峯キャンパス)	(H15)	190	608	533	164	86.3	600	518	86.3
	高等学校 (計)	S23	580	2549	2347	572	98.6	1,800	1651	91.7
聖和幼稚園 (仙台市若林区木ノ下 4 丁目 3-14)		S29	120	98	98	98	81.6	300	227	75.6

※現員の中に 6 月・9 月・11 月入園してくる園児数も含まれる(6 月 1 名 9 月 1 名 11 月 1 名)

(4) 役員概要

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

① 理事

定員数 (10~13 名) 現員 (10 名)

区 分	氏 名	性別	勤務区分	現 職	住 所
理 事 長	スズキ シゲオ 鈴木 繁雄	男	非常勤	会社社長	仙台市
常務理事	カマタ ブンケイ 鎌田 文恵	男	非常勤	短期大学学長	仙台市
常務理事	ホシ ショウブン 星 尚文	男	常勤	高等学校校長	仙台市
常務理事	アライ サナエ 荒井 早苗	男	常勤	幼稚園園長	仙台市
常務理事	オオスズマ セツオ 大沼 節雄	男	常勤	法人本部事務局長	仙台市
理 事	アカイザワ タカコ 赤井澤 孝子	女	非常勤	会社社長	仙台市
理 事	キタザワ タカオ 北澤 隆男	男	常勤	法人本部事務局次長	仙台市
理 事	ナルミ ワタル 鳴海 渉	男	常勤	短期大学副学長	仙台市
理 事	コンノ アツシ 今野 敦之	男	非常勤	会社社長	仙台市
理 事	アベ カンクろう 阿部 勘九郎	男	非常勤	会社社長	塩釜市
理 事	チバ ノブヒロ 千葉 信博	男	非常勤	会社社長	仙台市

* 大沼節雄は 24.3.31 付退任、後任者選任はない。

② 監事

定員数 (3 名) 現員 (3 名)

区 分	氏 名	性別	勤務区分	現 職	住 所
監 事	コンノ マモル 今野 守	男	非常勤	会社役員	仙台市
監 事	ハサマ ミエコ 狭間 美枝子	女	非常勤	無職	仙台市
監 事	ワタライ コウジュン 渡会 弘純	男	非常勤	無職	富谷町

(5) 評議員の概要

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

定員数 (21 名～41 名) 現員 (28 名)

氏 名	主な現職等	氏 名	主な現職等
鈴木 繁雄	理 事 長	田口 京子	—
鎌田 文恵	常務理事	菅原 幸枝	高等学校教諭
星 尚文	常務理事	高橋 誠也	弁 護 士
荒井 早苗	常務理事	真田 昌行	弁 護 士
大沼 節雄	常務理事	尾地 浩	短期大学協和会会長
赤井澤 孝子	理 事	針生 信夫	高等学校父母教師会会長
北澤 隆男	理 事	片岡 彰	短期大学教授
今野 敦之	理 事	飯田 成雄	高等学校副校長
阿部 勘九郎	理 事	小野 真喜子	短期大学教授
千葉 信博	理 事	宮東 幸七	短期大学事務部長
鳴海 渉	理 事	竹野 義信	高等学校教諭
佐久間 美江子	—	小山 次夫	高等学校職員
大和田 慎子	—	吉田 憲三郎	高等学校職員
志子田 ふさ	—	大宮司 慎一	高等学校教諭

* 大沼節雄、片岡彰、竹野義信は 24.3.31 付退任し、後任は木村昭代、鈴木克之である。

(6) 教職員の概要

(平成 23 年 5 月 1 日現在)

部 門	区 分	教 員	職 員	合 計
法人本部	本 務	—	7	7
	非常勤・兼務	—	0	0
	計	—	7	7
短期大学	本 務	26	16	42
	非常勤・兼務	98	4	102
	計	124	20	144
高等学校	本 務	92	11	103
	非常勤・兼務	50	19	69
	計	142	30	172
幼稚園	本 務	10	1	11
	非常勤・兼務	3	0	3
	計	13	1	14
合 計	本 務	128	35	163
	非常勤・兼務	151	23	174
	計	279	58	337

2. 事業の概要

はじめに

平成 22 年度終了間際の 3 月 11 日に、「東日本大震災」が発生しました。本学園では在校中の学生・生徒・園児の安全の確保を第一として対応した結果、全員の無事を確認しましたが、残念ながら大津波によって 6 名が死亡するなど被災された学生・生徒・園児、そのご家族は少なくありません。

本年度は悲しみの癒えぬまま 1 周年を迎えました。校舎等の建物はそれぞれ耐震診断や、必要な箇所には耐震補強工事を実施していたことから、一日も早い授業再開を目指し建物被害箇所の復旧工事を行った結果、高等学校・幼稚園は 4 月、短期大学は 5 月に教育活動を再開することができました。平成 23 年度は、被災した学生・生徒への経済的支援を十分に実施するという方針のもとで、第 2 次長期経営計画の最終年度を迎えることとなりました。

少子化の進展等の影響により私学を取りまく環境は厳しい状況にあるなか、平成 23 年度においては、被災学生を中心として教育費用に関する保護者の経済的負担軽減をはかるという財政上の課題を持ったことに加え、他学との競合や公立高校の入試制度変更、幼保一体化等々、競争の激化と環境変化が一層進む一年となりました。

本学園においては、第 2 次長期経営計画に基づく年次事業計画のもと、以下の 6 項目を推進・評価分野として掲げ、各種施策を展開してまいりました。

<学園の基本方針・目標・課題及び推進・評価項目>

1. 教育機関としての本業である教育成果の発揮・顕在化等の教育目標の設定とその達成
2. 募集・収容定員の継続的確保
3. 各部門の在籍者・カリキュラム等に応じた適正人員の設定と維持
4. 適切な進路指導と充実した支援
5. 社会で評価される人間の育成
6. 関係当事者に対する意識調査等によるニーズの把握とその結果への対応による満足度の向上

平成 23 年度決算については、千年に一度の未曾有の災害を乗り越えるための財政上の課題がある中、国・県・市をはじめ、地域のみなさまの暖かいご支援をいただき、おおむね順調に推移したものと考えます。

1. 学園全体に係る事業

(1) 東日本大震災の復旧に係る施設設備の整備

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に係る施設設備等の被害状況については、短期大学は仙台市北西部に位置していたこと、高等学校薬師堂キャンパスは平成 15 年に新築移転したこと、高等学校三神峯キャンパスは校舎・寮への耐震補強工事を実施していたこと、幼稚園は耐震診断の結果十分な耐震数値を持っていたこと等から、被害は最小限にとどまったものと考えられる。しかし、校舎内・外壁のクラック補修、天井パネル落下や照明装置の破損、屋上空調設備の倒壊や配管の破損、等々の被害額は、総額で約 82 百万円となった。

(2) 東日本大震災に被災した学生・生徒・園児に対する支援

本学園は、被災した学生・生徒等の学業の継続、新入生の就学機会提供のため、保護者の被災状況等に応じて様々な支援を実施した。(詳細は別記)

(3) リスク管理の強化

災害発生時等のためのリスク管理マニュアルについては、学生・生徒・園児によって対応が異なることを踏まえ、「防火・防災管理規程」、「災害対応マニュアル」、「不審者への緊急対応マニュアル」を制定した。また、「東日本大震災」における対応状況等を検証し、防災マニュアル等の見直しを実施した。その他、犯罪等の未然防止策の一環として高等学校、幼稚園に防犯カメラを増設した。

(4) 情報開示の促進

教育の質の維持向上や公共性の高い法人としての説明責任を果たすために積極的な情報公開が求められていることから、23 年 9 月から情報開示項目を増加した。

(5) コンプライアンス・ガバナンスの徹底

昨年度に引き続きコンプライアンス（法令等遵守）やガバナンス（適正な内部統制や管理運営体制の構築および各種法令等の遵守）を踏まえた経営管理体制の確立を目指してきた。平成 23 年 4 月には「公益通報者の保護に関する規程」を制定施行し、理事会・常任理事会においてコンプライアンス経営の重要性の認識を深めた。

また、教職員の健康保持の観点から、学園・教職員双方が実施すべき事項を明文化する等、就業規則及び関連規程の整備を実施した。また、全教職員が諸規程を随時閲覧できる体制をとるべく、学内グループ・ウェアを使用した仕組みづくりの検討を開始した。

内部監査委員による「内部監査」については、次のとおり実施した。

- ・平成 23 年 8 月 22 日から 3 日間 監査項目：13 項目
- ・平成 23 年 12 月 19 日から 3 日間 監査項目：14 項目

(6) 学園広報

昨年に引き続き、学生生徒が地域開催イベントに積極的に参加したほか、電波媒体、紙媒体、Mobile 等を活用した効果的な広報活動を実施した。昨年度実施した学生生徒の就職支援広報については、今年度の実施は見送った。次年度以降は、Mobile の発展に応じた広報、ホームページのリニューアル等について検討する。

(7) 寄付金の募集

寄付金の募集は、これまで聖和学園高等学校薬師堂校舎新築移転記念事業や聖和学園短期大学・高等学校の創立記念事業の一環として実施してきた。今年度は、寄付金募集強化策として、法人（企業）寄付にメリットのある日本私立学校振興・共済事業団の「受配者指定寄付金」制度を導入。また、個人寄付については、これまでの所得控除に加え、23 年度税制改正により一定の要件を満たした学校法人に適用される税額控除制度を選択することができるようにした。

2. 聖和学園短期大学

(1) 東日本大震災への対応

短期大学においては、被災学生の学業の継続、新入生の就学機会提供の観点から、被災状況に応じて、授業料・教育費の減免（66 名、18,460 千円）教科書の無償貸与（63 名、910 千円）その他生活用品の配付（不特定多数）、他企業機関等の実施する奨学金制度の斡旋（10 名）を実施したほか、学内の防災用品の備蓄強化、学生協との災害協定の締結等を実施した。

(2) 学生支援体制・福利厚生の実施

- ・修学支援制度の実施をはかるため、これまでの授業料減免制度に加えて資格取得者や成績優秀者等への奨励金支給を行うこととした。
- ・授業料の一括納入が困難な学生からの入学辞退や分納・延納の申出が増加する傾向にあることから、就学意欲のある学生支援のため、新たに（株）オリエントコーポレーションとの提携による「学費サポートプラン」を導入した。
- ・本学の進路（就職）状況について、保育福祉学科は 9 年連続で進路決定率 100%を誇っている。キャリア開発総合学科においても前年度を大幅に上回る進路決定率となった。さらに、学生の就職支援体制を強化するため、進路開拓専担者を配置した。
- ・最近、様々な要因でストレスを抱え込み精神的に不安定な学生や身体的な症状を訴える学生が増加している。これまで、健康管理センターで対応してきたが、早期の「こころのケア」の対応を行うため、メンタルヘルスカウンセラーを配置した。
- ・その他、学生食堂の運営についての見直しを行い、環境整備を実施する等充実をはかった。

(3) 地域貢献への取組

短期大学では、これまでも地域貢献活動に積極的に取り組んできたが、平成 23 年度の実績は以下のとおり。

- ・ハンドベル、すずめ踊り、YOSAKOI チームによる施設訪問など震災復興イベントへの参加やいずみ絆プロジェクト、南中山地域文化祭、みやぎ夢灯花、仙台放送まつり等へ学生が積極的に参加し地域貢献活動への取り組みを実施した。
- ・公開講座の実施（のべ 21 回開催）

3. 高等学校（薬師堂キャンパス・三神峯キャンパス）

(1) 東日本大震災への対応

高等学校においては、被災生徒への緊急就学支援（207 名、101,591 千円）、制服の無償支給（8 名）、教科書・副教材の支給（104 名、470 千円）、弔慰金（3 名、300 千円）、通学が困難生徒への三神峯寮入寮及び入寮費等の免除（15 名、1,254 千円）、24 年度入学検定料の免除（694 名、9,716 千円）などの支援を実施した。また、海外の教育基金などから被災生徒に対して奨学金やパソコン等の支援を受けた。

(2) 進路支援

卒業時の進路未決定者絶無を目標として、コースの特徴を生かし、進学特別講座、進学集中講座、大学出前授業の実施や専担者による新規就職先開拓など、きめ細かい指導支援を実施した。

(3) リスク管理

新たに、地震・火災に係る防災、不審者、インフルエンザに関するマニュアルを作成したほか、災害時の一斉配信メールの整備を実施した。

(4) 生徒指導の強化

精神的な不安定、身体症状を訴える生徒の通学や授業復帰を支援する仕組みとして、「こころの支援システム」を充実させるとともに生徒間のコミュニケーションの充実をはかった。また、本校建学の精神具現化のため、仏教行事や近隣寺院の協力を得て仏教体験を実施した。

4. 幼稚園

(1) 東日本大震災への対応

被災園児の就園機会提供の観点から、被災状況に応じて、保育料・入園料等の減免や教材等の配付を実施した（のべ 150 名、13,576 千円）。また、津波に巻き込まれ亡くなった卒園直後の園児に対する弔意を表した。

3.財務の概要

(1)決算の概要

①貸借対照表の状況

(資産の部)

(単位:円)

科目		本年度末	前年度末	増 減
資産	固定資産	11,728,134,219	10,955,124,257	773,009,962
	有形固定資産	9,962,008,369	10,143,293,218	△ 181,284,849
	土地	4,109,173,404	4,109,173,404	0
	建物	5,086,315,658	5,233,489,535	△ 147,173,877
	その他の有形固定資産	766,519,307	800,630,279	△ 34,110,972
	その他の固定資産	1,766,125,850	811,831,039	954,294,811
	流動資産	1,164,761,781	2,088,520,403	△ 923,758,622
	現金預金	995,706,670	1,958,181,531	△ 962,474,861
	その他の流動資産	169,055,111	130,338,872	38,716,239
合計		12,892,896,000	13,043,644,660	△ 150,748,660

(負債の部・基本金の部・消費収支差額の部)

(単位:円)

科目		本年度末	前年度末	増 減
負債	固定負債	1,551,471,551	1,711,660,093	△ 160,188,542
	長期借入金	1,396,290,000	1,540,730,000	△ 144,440,000
	退職給与引当金	143,931,893	153,512,231	△ 9,580,338
	その他の固定負債	11,249,658	17,417,862	△ 6,168,204
	流動負債	556,023,215	632,514,270	△ 76,491,055
	短期借入金	144,440,000	144,440,000	0
	その他の流動負債	411,583,215	488,074,270	△ 76,491,055
合計		2,107,494,766	2,344,174,363	△ 236,679,597
基本 金	第1号基本金	12,903,354,395	12,856,858,804	46,495,591
	第4号基本金	169,000,000	169,000,000	0
	合計	13,072,354,395	13,025,858,804	46,495,591
消費収 支差額	翌年度繰越消費収支差額	△ 2,286,953,161	△ 2,326,388,507	39,435,346
	合計	△ 2,286,953,161	△ 2,326,388,507	39,435,346
負債の部・基本金の部・消費収支差額の部合計		12,892,896,000	13,043,644,660	△ 150,748,660

貸借対照表の概要

平成23年度末の本学園の総資産額は約129億円となり、前年対比約1億5千万円の減少となった。

「資産の部」からその内容をみると、「流動資産」のうち「現金預金」が約9億6千万円減少している。これは財務政策によるものであり、その減少額の大半は「固定資産」のうち「その他の固定資産」へ資産移動を行ったものである。その内訳は、「減価償却引当特定資産」へ約8億2300万円、「退職給与引当特定資産」へ約1億3400万円、「施設設備拡充引当特定資産」へ約260万円である。これにより、流動比率は低下したものの、一般的な目安となる200%は確保している。

本年度は有形固定資産に関係する「施設関係支出」「設備関係支出」に大型の支出計画はなく、東日本大震災に係る修繕のみであったため、貸借科目への影響は薄い。よって、有形固定資産の通年変動である減価償却による減少(約1億8200万円)が、総資産減少の大きな要因である。

②収支計算書の状況

ア.資金収支計算書

(資金収入の部)

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,516,130,000	1,443,570,900	72,559,100
手数料収入	46,371,000	47,281,800	△ 910,800
寄付金収入	3,600,000	5,560,000	△ 1,960,000
補助金収入	666,026,000	837,666,881	△ 171,640,881
国庫補助金収入	90,396,000	118,149,000	△ 27,753,000
地方公共団体補助金収入	575,630,000	719,517,881	△ 143,887,881
資産運用収入	10,567,000	12,309,759	△ 1,742,759
事業収入	51,830,000	49,891,000	1,939,000
雑収入	46,979,000	53,562,124	△ 6,583,124
前受金収入	343,683,000	289,305,548	54,377,452
その他の収入	903,942,000	967,465,646	△ 63,523,646
資金収入調整勘定	△ 346,946,000	△ 439,797,072	92,851,072
前年度繰越支払資金	1,958,181,531	1,958,181,531	0
資金収入の部合計	5,200,363,531	5,224,998,117	△ 24,634,586

(資金支出の部)

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,421,118,000	1,389,262,283	31,855,717
教育研究経費支出	559,650,000	541,630,001	18,019,999
管理経費支出	231,869,000	206,019,914	25,849,086
借入金等利息支出	22,577,000	22,576,790	210
借入金等返済支出	144,440,000	144,440,000	0
施設関係支出	10,150,000	8,201,340	1,948,660
設備関係支出	32,710,000	22,588,748	10,121,252
資産運用支出	1,049,514,000	985,250,634	64,263,366
その他支出	909,863,000	992,411,949	△ 82,548,949
(予備費)	(86,580,000)		
	163,420,000		163,420,000
資金支出調整勘定	△ 84,836,000	△ 83,090,212	△ 1,745,788
次年度繰越支払資金	739,888,531	995,706,670	△ 255,818,139
資金支出の部合計	5,200,363,531	5,224,998,117	△ 24,634,586

資金収支計算書の概要

平成23年度の資金収支計算書の特記事項は、「次年度繰越支払資金」を9億9600万円としたことである。本年度は、平成20年から取組んだ第2次長期経営計画の最終年度にあたり、それ以前の第1次長期経営計画の成果と併せて、手持ち資金から将来への資金へ振替する対応を行った。そのため平成22年末に約19億5800万円保有していた次年度繰越支払資金を将来に向けて支出した。その結果、平成23年度の資金収支上の収支勘定は、約9億6200万円の支出超過となった。

また、東日本大震災に係り、被災した学生生徒への援助の支出(教.奨学費等)、建物等の修繕への支出の必要性も大であったが、年度中間に策定した補正予算において大型の予備費計上により予算統制が出来た。また国、県、市による震災関係に係る補助金は、総額約1億8千万円にのぼり、学園の財政は大過なく決算を迎えることが出来た。

イ.消費収支計算書

(消費収入の部)

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,516,130,000	1,443,570,900	72,559,100
手数料	46,371,000	47,281,800	△ 910,800
寄付金	3,780,000	6,610,191	△ 2,830,191
補助金	666,026,000	837,666,881	△ 171,640,881
国庫補助金	90,396,000	118,149,000	△ 27,753,000
地方公共団体補助金	575,630,000	719,517,881	△ 143,887,881
資産運用収入	10,567,000	12,309,759	△ 1,742,759
事業収入	51,830,000	49,891,000	1,939,000
雑収入	46,979,000	57,862,124	△ 10,883,124
帰属収入合計	2,341,683,000	2,455,192,655	△ 113,509,655
基本金組入額	△ 182,901,000	△ 46,495,591	△ 136,405,409
消費収入の部合計	2,158,782,000	2,408,697,064	△ 249,915,064

(消費支出の部)

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
人件費	1,440,348,000	1,379,681,945	60,666,055
教育研究経費	764,862,000	746,144,079	18,717,921
管理経費	243,984,000	217,818,134	26,165,866
借入金等利息	22,577,000	22,576,790	210
資産処分差額	1,226,000	1,113,170	112,830
徴収不能額	0	112,200	△ 112,200
徴収不能引当金繰入額	2,271,000	1,815,400	455,600
(予備費)	(106,050,000)		
	143,950,000		143,950,000
消費支出の部合計	2,619,218,000	2,369,261,718	249,956,282
当年度消費収入超過額	△ 460,436,000	39,435,346	—
基本金取崩額	0	0	—
前年度繰越消費収入超過額	△ 2,326,388,417	△ 2,326,388,507	—
翌年度繰越消費収入超過額	△ 2,786,824,417	△ 2,286,953,161	—

消費収支計算書の概要

平成23年度の「帰属収入」は約24億5000万円となり、予算比約1億1300万円の増額となった。その要因は震災に係る補助金による影響が大である。

収入の部のうち、基本金組入額の差異は、予定していた機器備品の購入が不要となった事等、計画時の見狂いによるものである。

また、支出の部では、資金収支と同様、震災による大型予備費の設定を行い、予算から「教.修繕費」に約7400万円、24年度入学生に対応した「管.入学検定料免除額」約970万円等の支出を行った。

結果的として、収入の部では計画比約2億5千万円の収入超過、支出では、予備費の残額を除き約1億600万円の支出減となった。

以上の結果、消費収支差額は、平成20年以来の収入超過(約3900万円)となった。

(2) 経年比較

① 貸借対照表

(資産の部)

(単位:円)

科目		21年度	22年度	23年度
資産	固定資産	11,063,208,738	10,955,124,257	11,728,134,219
	有形固定資産	10,319,382,618	10,143,293,218	9,962,008,369
	土地	4,109,173,404	4,109,173,404	4,109,173,404
	建物	5,384,332,294	5,233,489,535	5,086,315,658
	その他の有形固定資産	825,876,920	800,630,279	766,519,307
	その他の固定資産	743,826,120	811,831,039	1,766,125,850
	流動資産	1,988,130,504	2,088,520,403	1,164,761,781
	現金預金	1,874,684,538	1,958,181,531	995,706,670
	その他の流動資産	113,445,966	130,338,872	169,055,111
合計	13,051,339,242	13,043,644,660	12,892,896,000	

(負債の部・基本金の部・消費収支差額の部)

(単位:円)

科目		21年度	22年度	23年度
負債	固定負債	1,848,037,571	1,711,660,093	1,551,471,551
	長期借入金	1,685,170,000	1,540,730,000	1,396,290,000
	退職給与引当金	156,415,111	153,512,231	143,931,893
	その他の固定負債	6,452,460	17,417,862	11,249,658
	流動負債	638,262,062	632,514,270	556,023,215
	短期借入金	144,440,000	144,440,000	144,440,000
	その他の流動負債	493,822,062	488,074,270	411,583,215
合計	2,486,299,633	2,344,174,363	2,107,494,766	
基本金	第1号基本金	12,687,910,272	12,856,858,804	12,903,354,395
	第4号基本金	169,000,000	169,000,000	169,000,000
	合計	12,856,910,272	13,025,858,804	13,072,354,395
消費収支差額	翌年度繰越消費収支差額	△ 2,291,870,663	△ 2,326,388,507	△ 2,286,953,161
	合計	△ 2,291,870,663	△ 2,326,388,507	△ 2,286,953,161
負債の部・基本金の部・消費収支差額の部合計		13,051,339,242	13,043,644,660	12,892,896,000

②収支計算書

ア.資金収支計算書 三ヵ年比較

(資金収入の部)

(単位:円)

科目	21年度	22年度	23年度
学生生徒等納付金収入	1,584,553,234	1,596,952,795	1,443,570,900
手数料収入	53,894,375	48,379,100	47,281,800
寄付金収入	7,379,000	11,296,068	5,560,000
補助金収入	703,820,819	661,976,167	837,666,881
国庫補助金	100,394,000	105,250,000	118,149,000
地方公共団体補助金	603,426,819	556,726,167	719,517,881
資産運用収入	20,669,274	16,300,790	12,309,759
事業収入	42,392,050	37,976,700	49,891,000
雑収入	65,524,430	76,265,379	53,562,124
前受金収入	360,947,548	316,511,548	289,305,548
その他の収入	709,387,395	935,387,449	967,465,646
資金収入調整勘定	△ 401,149,664	△ 444,016,419	△ 439,797,072
前年度繰越支払資金	1,756,723,513	1,874,684,538	1,958,181,531
資金収入の部合計	4,904,141,974	5,131,714,115	5,224,998,117

(資金支出の部)

(単位:円)

科目	21年度	22年度	23年度
人件費支出	1,435,103,573	1,431,821,178	1,389,262,283
教育研究経費支出	506,364,288	457,762,551	541,630,001
管理経費支出	176,841,278	182,378,913	206,019,914
借入金等利息支出	26,620,230	24,598,510	22,576,790
借入金等返済支出	144,440,000	144,440,000	144,440,000
施設関係支出	24,410,591	12,780,697	8,201,340
設備関係支出	26,846,992	29,895,312	22,588,748
資産運用支出	80,028,337	98,270,949	985,250,634
その他支出	718,460,120	910,907,398	992,411,949
資金支出調整勘定	△ 109,657,973	△ 119,322,924	△ 83,090,212
次年度繰越支払資金	1,874,684,538	1,958,181,531	995,706,670
資金支出の部合計	4,904,141,974	5,131,714,115	5,224,998,117

イ.消費収支計算書 三ヵ年比較表

(消費収入の部)

(単位:円)

科目	21年度	22年度	23年度
学生生徒等納付金	1,584,553,234	1,596,952,795	1,443,570,900
手数料	53,894,375	48,379,100	47,281,800
寄付金	8,270,352	12,599,368	6,610,191
補助金	703,820,819	661,976,167	837,666,881
国庫補助金	100,394,000	105,250,000	118,149,000
地方公共団体補助金	603,426,819	556,726,167	719,517,881
資産運用収入	20,669,274	16,300,790	12,309,759
事業収入	42,392,050	37,976,700	49,891,000
雑収入	70,074,259	76,265,379	57,862,124
帰属収入合計	2,483,674,363	2,450,450,299	2,455,192,655
基本金組入額	△ 177,958,653	△ 169,328,681	△ 46,495,591
消費収入の部合計	2,305,715,710	2,281,121,618	2,408,697,064

(消費支出の部)

(単位:円)

科目	21年度	22年度	23年度
人件費	1,427,025,173	1,428,918,298	1,379,681,945
教育研究経費	715,190,708	665,102,877	746,144,079
管理経費	187,600,214	193,442,066	217,818,134
借入金等利息	26,620,230	24,598,510	22,576,790
資産処分差額	3,896,043	1,709,960	1,113,170
徴収不能額+引当金繰入額	1,539,600	2,247,900	1,927,600
消費支出の部合計	2,361,871,968	2,316,019,611	2,369,261,718
当年度消費収入超過額	△ 56,156,258	△ 34,897,993	39,435,346
前年度消費収入超過額	△ 2,235,714,405	△ 2,291,870,663	△ 2,326,388,507
基本金取崩額	0	380,149	0
翌年度繰越消費収入超過額	△ 2,291,870,663	△ 2,326,388,507	△ 2,286,953,161

(3) 主な財務比率比較

(単位:%)

(単位:%)

比 率	算 式(×100)	21年度	22年度	23年度
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	4.9%	5.5%	3.5%
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	102.4%	101.5%	98.4%
消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	95.1%	94.5%	96.5%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	63.8%	65.2%	58.8%
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	57.5%	58.3%	56.2%
人件費依存度率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	90.1%	89.5%	95.6%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	28.8%	27.1%	30.4%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	7.6%	7.9%	8.9%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	311.5%	330.2%	209.5%
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	23.5%	21.9%	19.5%
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	80.9%	82.0%	83.7%

自己資金=基本金+消費収支差額

総資金=負債+基本金+消費収支差額

(4)借入金の状況

借入金総額: 1,540,730,000 円

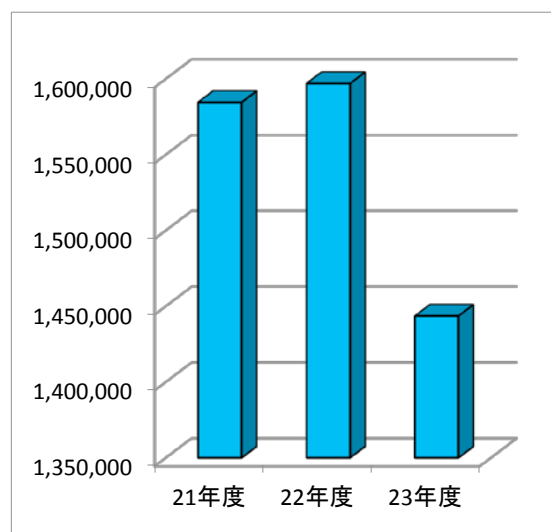
借入先: 日本私立学校・振興共済事業団

■グラフによる資料

(単位:千円)

1. 学生生徒納付金

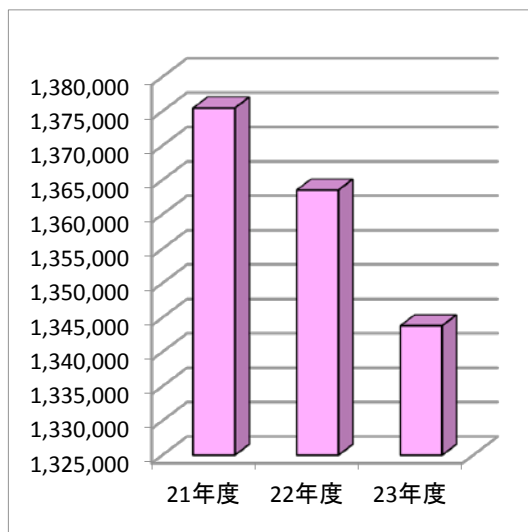
(資金収支: 学生生徒納付金収入)



	21年度	22年度	23年度
学生生徒納付金収入	1,584,553	1,596,953	1,443,571

2. 人件費

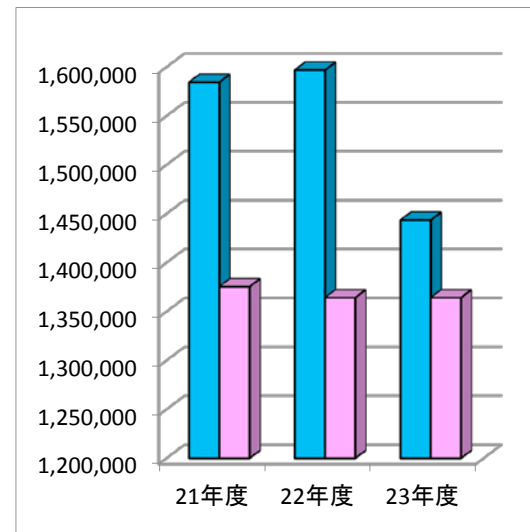
(資金収支: 人件費-退職金は除く)



	21年度	22年度	23年度
人件費	1,375,484	1,363,558	1,343,826

3. 学納金対人件費

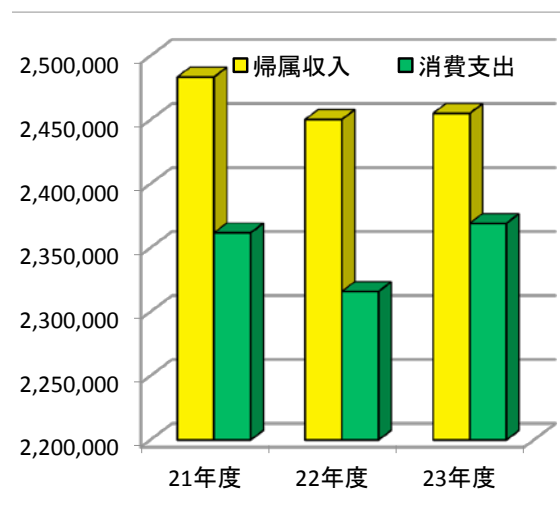
(退職金を除く人件費支出、学納金)



	21年度	22年度	23年度
学納金	1,584,553	1,596,953	1,443,571
人件費	1,375,484	1,364,189	1,364,189

4. 帰属収入と消費支出

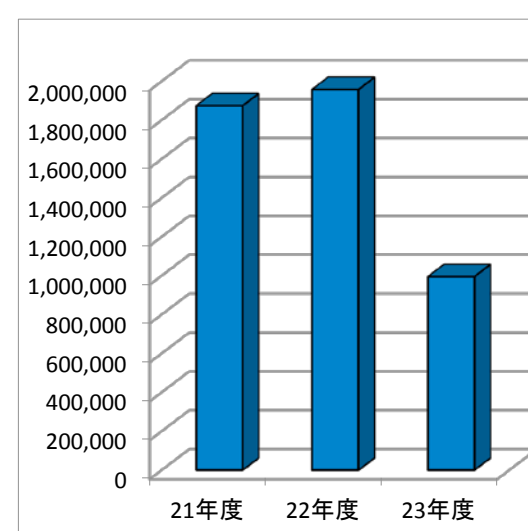
(消費収支計算書: 帰属収入合計額)



	21年度	22年度	23年度
帰属収入	2,483,674	2,450,450	2,455,193
消費支出	2,361,872	2,316,019	2,369,262

5. 手持ち支払資金

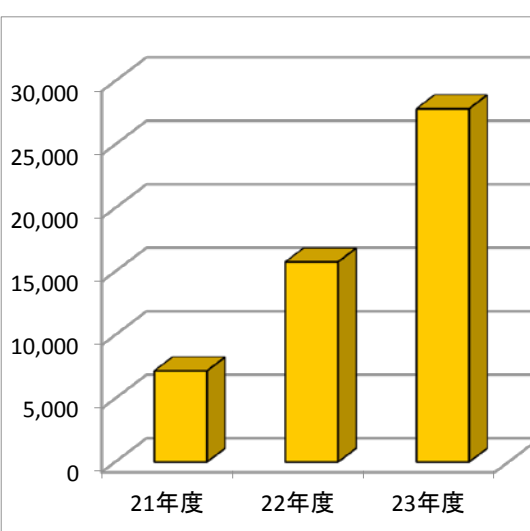
(資金収支: 次年度繰越支払資金)



	21年度	22年度	23年度
次年度繰越支払資金	1,874,685	1,958,182	995,707

6. 学生生徒納付金の未収額

(期末未収入金・学納金関係)



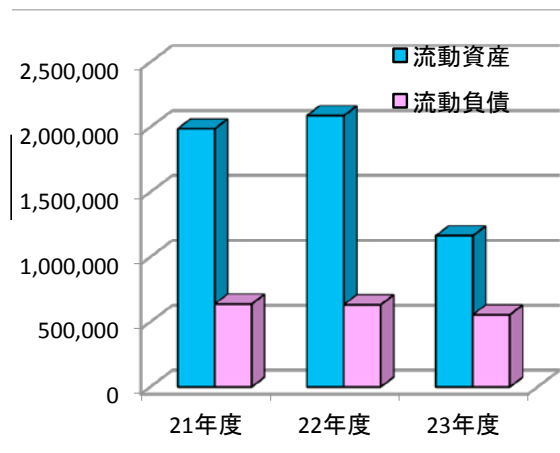
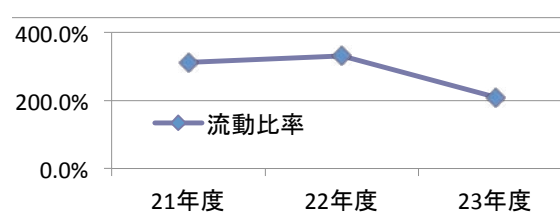
	21年度	22年度	23年度
学納金の未収	7,179	15,759	27,826

(22年は震災による増加)

(23年は震災による補助金による増加)

7. 流動比率

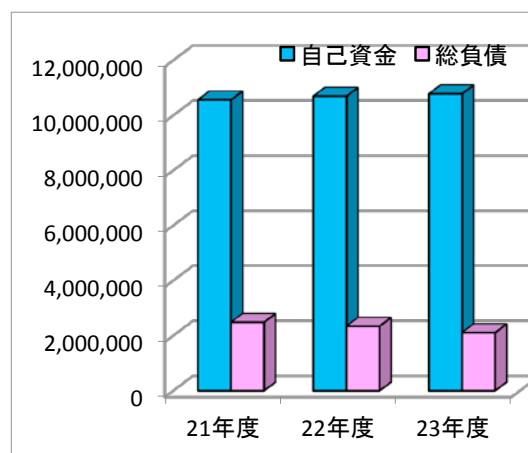
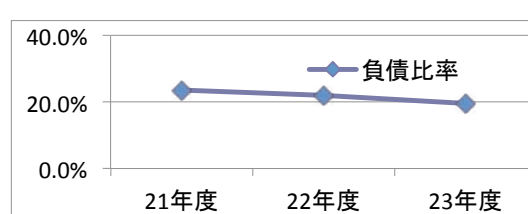
(貸借対照表: 流動資産、流動負債)



	21年度	22年度	23年度
流動比率	311.5%	330.2%	209.5%
流動資産	1,988,131	2,088,520	1,164,762
流動負債	638,262	632,514	556,023

8. 負債比率

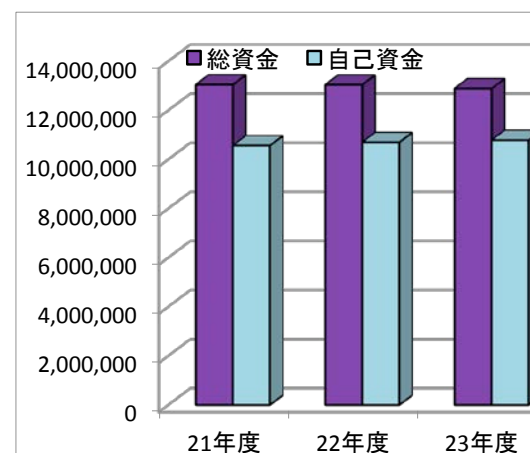
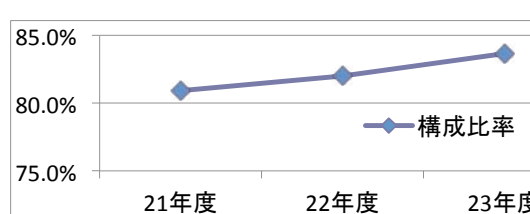
(貸借対照表: 総負債、自己資金)



	21年度	22年度	23年度
負債比率	23.5%	21.9%	19.5%
自己資金	10,565,040	10,699,470	10,785,401
総負債	2,486,300	2,344,174	2,107,495

9. 自己資本構成比率

(総資金、自己資金)



	21年度	22年度	23年度
構成比率	80.9%	82.0%	83.7%
総資金	13,051,339	13,043,645	12,892,896
自己資金	10,565,040	10,699,470	10,785,401